

会 議 録

1. 件 名：長崎市まちなか賑わいづくり活動支援補助金交付審査会
2. 日 時：令和6年7月23日（火） 9：00～12：00
3. 場 所：長崎市役所7階 中会議室
4. 出席者：（委員）片山会長、山下副会長、松本委員、塩田委員
（事務局）まちなか事業推進室 山口室長、甲斐係長、平山、岩本
5. 議事次第
 - (1)開会
 - (2)審査委員紹介
 - (3)事務局紹介
 - (4)会長・副会長選出
 - (5)会議の公開・非公開の取扱いについて
 - (6)議題
 - ①まちなか賑わいづくり活動支援事業及び審査会について
 - ②審査会スケジュール及び審査方法について
 - ③まちなか賑わいづくり活動支援事業プレゼンテーション審査
 - (7)その他
 - (8)閉会
6. 議事概要
 - ・会長・副会長選出について
会長には、片山委員が、副会長には、山下委員が選出された。
 - ・会議の公開・非公開の取扱いについて
事務局より審査方法や採点に係る部分は非公開、応募者のプレゼンテーションについては、公開することを説明した。
審査委員から事務局の説明に対して特に意見なし。
 - ・議題1 まちなか賑わいづくり活動支援事業及び審査会について
事務局より、まちなか賑わいづくり活動支援事業の概要及び審査会の役割等について説明した。
審査委員から事務局の説明に対して特に意見なし。
 - ・議題2 審査会スケジュール及び審査方法について
事務局より審査会のスケジュール及び審査基準や審査方法（案）について説明した。
審査委員から事務局の説明に対して特に意見なし。
 - ・議題3 まちなか賑わいづくり活動支援事業プレゼンテーション審査について
応募のあった8件の事業について、プレゼンテーションを行い、審査の結果4件が採択事業となった。
なお、質疑応答内における主な意見は以下のとおり。

【① アルコアラと歩こう】

発言者	質疑応答内容
審査委員	アルコアラのデザインについて、商店街のキャラクターであることが分かるようになっていますか。個人的な印象では、何のキャラクターか分からなかったです。
応募者	アルコアラのお腹が財布になっており、「買い物＝商店街」というイメージに結び付くと考えます。周辺の観光スポット「眼鏡橋」とリンクさせて、眼鏡をかけさせることもできると思います。 アルコアラは、「アルコア中通り」と「コアラ」を掛け合わせてできたキャラクターで、例えば「船橋市」の「ふなっしー」に近いものとイメージしていただければと思います。一目で商店街のキャラクターだと分かるものではないかもしれませんが、今後商店街のキャラクターとして PR していくことで、認知度の向上を図っていきたいと考えています。
審査委員	アルコアラについて、何かに印刷されていたり、店舗のテーブルに貼ってあったりなど、商店街のキャラクターとして定着させるための活用事例がありましたら教えてください。
応募者	アルコアラは商店街のキャラクターとして 2019 年に誕生しましたが、商店街の振興組合に加盟している店舗にはステッカーを貼っています。今後は空き店舗を活用してアンテナショップを開き、アルコアラのオリジナルグッズを作成・販売などできたらと考えています。
審査委員	店舗の紹介をアルコアラを活用して行うとありましたが、周辺の歴史や文化の紹介なども行う予定はありますか。
応募者	アルコアラの着ぐるみの隣にガイドを付けて、例えば、眼鏡橋や周辺のお寺などを巡り、観光案内できるようにしたいと考えています。 また、商店街青年部の中で PR 動画を作成したいという声があり、お店紹介に限らず、歴史紹介なども行うよう検討しています。
審査委員	観光事業や地域の取組みと連携して賑わいを創出し、通行量も大きく減少しているとのことなので回復させ、個店の売り上げにもつながるようにしていただけたらと思います。

【② 中島川 まちなか賑わいピック SUP ツアー 冬の陣】

発言者	質疑応答内容
審査委員	すでに大きな SUP を導入されているとのことですが、今回の事業では、所持されているものとは別に、レンタルして個数を増やす予定なのでしょうか。
応募者	少しニュアンスが異なりますが、このアクティビティの課題は冬に閑散期を迎えることにあります。SUP を体験するにあたって、「冬は寒そう」というイメージがありますが、そうではなくて「全然できますよ」ということを PR していく活動が今回の事業です。 新たに道具を増やしてという考えではありません。道具自体は委託先業者ですでに導入されています。
審査委員	今回の事業では、その業者からレンタルするということですか。
応募者	そうです。道具はレンタルして実施します。
審査委員	説明の中で SUP の安全性が一定あることは分かりましたが、人が乗ることになりますので、保険はどのように考えていますか。
応募者	委託先業者で施設賠償保険に入っています。日本 SUP 指導者協会では必須になっていて、インストラクターの資格を持っているだけでは開催できない規定があります。
審査委員	その業者が保険に入っていれば、参加者にも適用されるという理解でよろしいでしょうか。
応募者	はい、その通りです。
審査委員	SUP の体験には年齢制限はありますか。 また、中島川の近くでカヤックをされている事業者の方がいますが、同じ日に実施することになった場合、安全に行き来できるものですか。
応募者	まず、年齢制限について、特別何歳以上という制限は設けていませんが、申込状況を見るに、ほとんどの方は 3 歳以下のお子様はお連れにならない感覚です。 ピック SUP は乗っているだけというイメージの乗り物です。1 人乗りの SUP なら自分で漕ぐ必要があるので、小学生以上という基準を設けています。ピック SUP は全員で漕ぐので、小さなお子様でもある程度対応できます。また、上の方の上限は、一般常識の範囲で健康な方であれば受付をしています。 また、カヤックの件は、私も事業者の方を存じておりますので、お互いに譲り合って実施している状況です。カヤックと SUP も行き来ができます。どちらも機動力が高いので、避ける操作もできますし、技術的に避けることが出来ない方は中島川ではマリナクティビティをしていません。
審査委員	夏は SUP ツアーを実施している状況だとお聞きしていますが、今回冬は初めての取組みになるのでしょうか。
応募者	冬も事業はしていく予定ですが、マリナクティビティの業界の状況を見るに、冬はこのままだと申込が 0 件になるほど落ち込む見込みです。そこで、今回の事業で観光と結び付け、事業を続けていきたいと考えています。

審査委員	今回の事業は、補助金と一部自己資金で実施するとのことですが、2 年目以降の事業の継続について、何かお考えがあれば教えてください。
応募者	2 年と言わず、5 年、10 年と継続していくつもりでいます。今回の事業で動画を作成する予定なのですが、それを自分たちの SNS で継続発信することで効果を狙っています。単発のイベントだけでは発信力が弱いので、継続的に発信していくことで、長崎市にもこのようなマリナクティビティがあるということを全国に伝えていきたいと考えています。
審査委員	そういった素材や、様々な制度や補助金を活用していくことと、参加者から有料費用をいただいて継続的な事業として存続させていくという認識でよろしいでしょうか。
応募者	はい。次年度以降は有料開催する予定ですので、事業として継続させていただきます。

【③ まちなか推し巡りカードラリー】

発言者	質疑応答内容
審査委員	「見る観光から体験する観光へ」というお話がありましたが、体験する観光の具体的なイメージと観光ルートなどがありましたら教えてください。
応募者	エリアは東山手・南山手となっていますが、ルートとしては東山手甲十三番館、オランダ坂、グラバー園、祈念坂などを巡るオリジナルルートを検討しており、10スポット設置する予定です。各スポットに観光カードを設置して、その場所に行くとカードがもらえますので、コンプリートを目指していただくという体験型のカードラリーとなっています。例えば、東山手甲十三番館に行って、内部を見るだけでなく、雑貨の販売などもありますので、その中で観光カードをゲットしていただき、「じゃあ次はここに行こうかな」と別のスポットでも楽しんでいただき、最終的に10枚集めて、やはり手元に何か残った方が思い出もその分脳に焼き付くのではないかと思いますので、「集める」という体験を一つの楽しみとして考えています。そして、「次もまた来たいな」というリピートの誘致にもつなげていきたいと考えます。
審査委員	事業の実施にあたり、協力者や支援者はいますか。
応募者	プロジェクト段階での支援者はいません。 今回の事業では、デザイン費と印刷費がありますが、台紙は特殊な加工が必要なので単価が高く、それを1,000部ほど印刷して年間通して使用していきますので、今後の事業費としては印刷費がメインとなります。 例えば岩崎本舗の角煮まんじゅうとコラボしてカードを作ると、その店舗の集客にもつながりますので、協賛金を募ることが考えられます。
審査委員	観光カードの具体的なデザインイメージを知りたいのですが、資料を見るに観光スポットの写真を背景にキャラクターが印刷されるものになりますか。
応募者	表裏がありまして、片面には写真を背景にキャラクターを印刷します。弊社の既存キャラクターが2名いますが、設定上あと3名存在しており、計5名のキャラクターを使用します。また、同じポーズばかりでは飽きてしまいますので、様々なポーズのイラストを制作します。裏面には、背景になっている観光スポットの歴史的背景を記載し、ただのカードではなくて、歴史も学べ、長崎市を知るきっかけになるデザインにしようと思っています。
審査委員	あと3名のキャラクターはもう存在しているんですか。
応募者	コンセプトはできています。デザインはこれから行います。
審査委員	既存の2名のキャラクターは、アニメなどの作品のキャラクターではなくオリジナルのものですか。
応募者	はい。弊社のオリジナルキャラクターです。
審査委員	概要が分かりました。背景を写真にするのであれば、長崎が舞台になったアニメもありましたので、できれば写真をアニメ背景風に加工作して、「アニメのワンシーンかな？」と思わせるようなカードになるとより良いと思います。

【④ つきまち長崎横丁で築町の魅力発信！】

発言者	質疑応答内容
審査委員	横丁の出店店舗から、営業が始まった場合、売上からいくらか集金するシステムだと把握しておりますが、今回の事業に関しては、営業が始まる以前の収入がない期間を補うためのパンフレットという理解でよろしいですか。
応募者	はい、その通りです。
審査委員	では、今後営業が始まった後は、収益によってパンフレットを作成するということになりますか。
応募者	はい、その予定です。
審査委員	テナントを今募集されていると思いますが、NCC 独自のコンテンツがあるのかという点と、テナントの個店の魅力に依存する店舗運営や情報発信を行うのかという点と、将来的には朝市を行うという話がありましたが一番の売りと、事業を中長期的に継続する考えがあれば教えてください。
応募者	現在出店者向けに配布しているパンフレットがありますが、売りはこの美術です。余裕があれば 3 か月に 1 回程度、変えていきたいと思っています。長崎市に行って、「まずはあそこで写真をとろう」という所を作らないといけないと、そしてその発信は NCC にしかできないと考えております。 また、弊社の社員が出演している広報番組がありますが、その内容を充実させて魅力を発信してまいります。 イベントの実証実験を 3 回しましたが、「モッテコイ！イベント」と称して、それこそ市民の皆さんに、例えば詩吟やアカペラなど、どんなものでもいいので参加者を募集して小さなステージで催しを行い、市民、県民が気軽に参加でき出来る横丁を作りたいと考えています。 総合的な裏テーマとして「出会い」があります。なぜ、「出会い」かということ、やはり「出会い」がないからまちから人が離れていると思っておりまして、この事業によって、商業を通じて人が出会ってコミュニケーションが生まれ、友人、恋人、その先に家族ができて、長崎市を好きになって、わずかながら人口減少対策につながっていくという仮説があります。なので、この事業が誰のためかということ、市民、県民のためです。 色々な要素を詰め込んでいますが、我々にしかできないものとなっていると思います。
審査委員	ながさきの台所として築町の拠点となるよう取り組んでいただきたいと思います。
審査委員	共同事業ということで、メルカつきまちと協議会、そして NCC で取り組まれていて、まだテナントが確定していないところではあるとは思いますが、今回の補助金制度は市民の方も応募できるようになっており、その中で補助金を活用する必然性についてご説明いただけますでしょうか。
応募者	内情をお話ししますと、資金のほとんどがインフラ整備にかかっておりまして、広告宣伝費が非常に厳しい状況にあります。よく、スタジアムシティの事業と比較されることがありますが、事業規模で申し上げますと 1/1,000 以下の規模になります。弊社の取組みは、市民、県民が参加しやすい、そして、そこからコミュニケーションを生み出して、本当に長崎市を好きになる人を生み出していこうという考えがあります。

応募者	特に中心市街地の活性化に効果が期待できますし、本当の意味で長崎を牽引しているのは踊町周辺だと考えます。さらに、思案橋、鍛冶屋町、銅座町はナイトタイムエコノミーの中心地だと思いますが、そこに〇次会の発信拠点としての場所は、今はないと考えます。市民のためにそういう拠点を作ることが必要と考えますので、一企業の実践だけではございますが市民に還元されるものとして確信しております。
-----	---

【⑤ Art Park 構想】

発言者	質疑応答内容
審査委員	この事業を丸山公園で実施した後、「こっちの公園でもしてほしい」「小学校でもやるべきでは」というような声上がるのではないかとと思いますが、事業の周知手段はどのように考えていらっしゃいますか。
応募者	SNS やホームページで周知します。私は丸山公園の近くでギャラリーがあるカフェを営業していますので、描いた絵を展示したいと思っています。昔よくデパートに貼ってあったように、自分たちで作った作品をギャラリーに展示していくと、それを見てくれる人がいて、もっと波及していくと思います。また、さらに波及効果を上げるためにパンフレットなどを作ることもできると思います。
審査委員	実施予定が 9 月 22 日ということですが、1 日のみ開催ですか。
応募者	はい、そうです。
審査委員	印刷費についてですが、約 12,000 円と金額が少ないように感じましたが、どのくらいの枚数でどのような場所に掲示する予定ですか。
応募者	チラシは 1,000 枚印刷する予定です。掲示場所は教育委員会を通して学校に配布したり、地域や子どもが集まる場所や病院にも配布できると思います。
審査委員	具体的な掲示場所はこれから決めるということですか。
応募者	はい、これから検討します。
審査委員	ART PARK 実行委員会は何名くらいで構成されていますか。また、具体的な活動内容がありましたら教えてください。
応募者	アーティストが 3 名ほどいて、どのような構想にしていくかというアイデアを出し合っています。
審査委員	先程の説明で県の教育委員会の名前が出てきましたが、この事業について既にお話しされていますか。
応募者	いいえ、これから相談しようと考えています。
審査委員	ぜひ、県美術館や県の教育委員会、また美術の先生とも連携を図ってほしいと思います。ギャラリーの事業者の方だけで実施すると、どうしても発信力に限界があると思いますので、協力体制をとることで継続性が高まっていくと思います。
応募者	今回の事業において、県美術館にもチラシ等を設置する形で協力依頼をしようと思っています。 また、美術館の在り方として、もう少し子どもがワイワイとしゃべって楽しめるような場所にできるようにお話ししていきたいとも考えています。

【⑥ 長崎まちなか Art プロジェクト】

発言者	質疑応答内容
審査委員	具体的にどのようなアートがあるのか、そのアートは地域との関係性があるものなのかを教えてください。 また、先程の説明でアーティストにヒアリングを行い、次回につなげるという話がありましたが、今後の発展についてお考えがあれば教えてください。
応募者	アートというのは、ご存じの通り彫刻もあれば芸術もあり、分野が全然違うものも一括りにアートと考えています。13人のメンバーがいますが、それぞれ絵を描く人や、彫刻をする人、ジュエリー作家などいて、それぞれの分野で一番表現しやすいものでカテゴライズして、ART MAP を作成していきたいと考えております。アーティストにも市民にも分かりやすいものとなるようデザインしていきます。 また、次年度に被爆 80 周年を迎えますが、長崎市の8月は平和の展示会が多いです。しかしながら、それぞれピンポイントで開催しているのでつながりがありません。今回の事業によって、点と点をつなげられないかと考えています。縦のつながりができると面になって、より情報の発信力が強くなります。まず、そういった面での起点として今回の事業を計画しており、今後につなげていきたいと考えています。
審査委員	展示会がバラバラに開催されている原因として、どのような点が考えられますか。
応募者	それぞれ実行委員会形式やギャラリー主催などで開催されていますが、各々が独立していて、お互いに集まって話をする場がなかったと思います。この事業を機会に、何かしらの形で結び付けることができるのではないかと考えています。
審査委員	事業費について、マップのデザインとホームページの制作がそれぞれ 99,000 円となっていますが、制作の費用としては安いと感じ、この金額で実現できるものか不安に思いましたので、デザイナーとの調整などを行っていただけますか。
応募者	マップもホームページも同じ業者に依頼しようと考えておりますが、その業者の代表者様が「アートと教育は未来につながるものであるから投資になる」という考えをお持ちで、もしかしたら赤字になるかもしれませんが、長崎市のまちなかの芸術文化をつくるきっかけとなれば、お金では計れない価値があるとして、この金額で実現できるお話をいただいております。
審査委員	イベントの開催について、秋頃を予定しているとのこと、スケジュール的に厳しいかと思われますが、進捗状況はどのようになっていますか。
応募者	補助金の制度上、交付決定後に実際の取組みを進めていく必要がございますので、スケジュールが厳しい状況なのは確かですが、13名のメンバー各々の芸術文化の活動拠点がありますので、そのメンバーの総力をあげて広報周知を行う予定です。
審査委員	企画自体が動き出すのは、補助金が出てからだと思いますが、ある程度それぞれの委員がいつでもスタートできる状態であるという理解でよろしいですか。
応募者	はい、その通りです。既に予定している企画もございます。

【⑦ バーチャル長崎ぶらり旅 ～まちなか魅力再発見！～】

発言者	質疑応答内容
審査委員	ゲームの内容について、具体的に何か目指すゴールがあるのか、プレイヤー達がゲームの中でどういう動きをしていくことで先に進んでいくのか、ゲームのジャンルを教えてください。
応募者	まず、この事業の目的としては、現地に行かずともバーチャル空間でまちなかエリアを楽しんでもらい、アバターを通して自分の好きな所をまわって、今度は「実際に現地に行きたい」という意欲を掻き立たせるためのツールになればと考えております。
審査委員	実際の店舗などはどのように再現される予定でしょうか。特に広告的な意味合いはどのように考えていますか。
応募者	ぜひ掲載してほしいという事業者様がいらっしゃいましたら、精巧に再現したいと思います。そこは、自治体や事業者との関係を構築していきながら今後検討していきたいと考えます。
審査委員	無課金で参加できるとのことですが、サイト維持のためなど継続していく上でコストがかかってくると思いますが、立ち上げ後の収入についてお考えがありましたら教えてください。
応募者	基本的にユーザーの方から収益を上げることは考えておりません。維持管理のための費用を得るとしても、クラウドファンディングなどの形での資金提供を考えています。
審査委員	活動スケジュールについて、9 月から開始する予定になっていますが、それ以前はどれくらいの準備期間を要するものでしょうか。
応募者	事業に必要な技術の習得などは、メンバー全員が兼ね備えておりますので、事業が採択されたらすぐに制作に移れる環境にあります。
審査委員	ゲームの完成後、まずは長崎市の人や観光客に知ってもらいたいとのことですが、どのように周知する予定ですか。
応募者	PR TIMES での広告や長崎市役所の 1 階にあるデジタルサイネージに広告を載せることを考えております。あとは、ウェブサイトを活用してユーザーとのつながりを確保していきたいと思います。

【⑧ まちなかと連携したサッカーのまち長崎へ！V・ファーレン長崎まちなかパブリックビューイング】

発言者	質疑応答内容
審査委員	グラバー園で開催とのことですが、参加者は入場料がかかりますか。
応募者	開催予定日は長崎居留地まつりが開催されており、市民の方は無料で入れます。しかし、観光客の方は入場料をお支払いいただくことになります。
審査委員	試合を観た後でまちなかへ送り出すということであれば、グラバー園は少し高台にあり離れていると思いますが、なぜグラバー園にしたのか教えていただけますか。
応募者	弊社としては現在、山手エリアの魅力発信をテーマとさせていただいております。グラバー園 50 周年を記念して何かできないかという話と、サッカー発祥のイギリスに由縁があるということ、長崎らしいスポットということで、まちなかで開催するにあたりふさわしい場所と考えた次第です。
審査委員	開催場所が屋外ですが、万が一、雨や風で開催が困難となった場合はどのようにされる予定ですか。
審査委員	グラバー園内の建物の中で開催できるよう調整しております。
応募者	事業費について、収支予算書に記載されている費用以外にも発生するものがあるように感じますが、記載していない費用が発生した場合は主催側で負担するということでしょうか。
審査委員	はい、その通りです。
応募者	集客のためにチラシを配布したり、広告宣伝費であったり、会場に椅子を設置したり、当日スタッフの人件費が発生したりということが考えられますが、記載していない費用について具体的な計画があれば教えていただけますか。
審査委員	人件費については、弊社の社員を派遣して、弊社の経費の中で対応する予定です。また、広告宣伝費についても、SNS やウェブ上での発信を考えておりますが、弊社の負担にて実施する予定です。当日のチラシに関しては、今のところ計画はしていませんが、長崎居留地まつりのイベントを活用していきたいと考えておりまして、相談させていただいている状況でございます。
応募者	次年度以降の具体的な取り組みについて、例えばまちなかで何回開催するとか、放映権を活用した発信など、何かお考えがあれば教えてください。
審査委員	山手エリア以外の浜町や新大工などで点々と開催していきたいと考えております。また、観光アプリのマネタイズとして、グラバー園の入場チケットの販売手数料と、市内 177 の登録店舗に関して送客手数料をいただいております。あとは、弊社の店舗で商品を買っていただく物販によって、マネタイズをしておりますが、今回のパブリックビューイングを通じて、さらに飲食店に回遊していただいたり、会場で V・ファーレン様とのコラボ商品を発売したりすることで、弊社としてのメリットを発生させながら事業を継続していきたいと考えております。